

WEB-1-1-9 フレインス

フレインス (1865~1944)

1901年：高木の実験結果とエイクマンの追試から、ニワトリの多発性神経炎と脚気は同じであり、中枢神経組織の代謝機能にとって重要な役割を果たす物質が、精白米に欠如しているために起き、米糠は含んでいる、ということを見つけた。